

未来を描く

No.7

生徒指導担当：王子明紀

上中生 素敵です



「先週のバスの中でのことなのですが…上中の子らとうちの子らは、給食がなかったから同じバスで下校になってたんですね。小学生が乗っていったら、何人か席を立ててゆずってくれていました。中学生、ほんま素敵ですね。」

今朝、小学校の教頭先生からこんな電話がありました。

始業式で『地域の安心』を創り出すバスマナーを」とお願いしました。みなさんは、それ以上のマナーで『地域のうれしさ』を創り出しています。中学生が小学生に座席をゆずる姿、ゆずられた小学生のうれしそうな表情。もしも、私がおの場所に出くわしたら、私もまた笑顔になるでしょう。

8月の終わりごろから、学校における感染症拡大について心配の声があがっています。世の中の人々が先生たちに「しっかりやってくれよ」と思うのは当然です。しかし、「学校が、学校が」という報道を見るたびに、「しっかりやっている」生徒を見てくださいと言いたくなります。2学期から皆さんにお願いすることが多くなっています。特別教室で自分が使ったところを次の人のために除菌シートで消毒するようになりました。授業をしている先生から丁寧に消毒をしていると聞いています。また、保護者の方々からも「たいしたことはないと思うのですが、みなさんのことも考えて用心して欠席させてもらいます」という連絡をいただくことも増えました。みんなの協力があって、学校の安全・安心が守られていると実感しています。本当にありがとうございます。

本日から、給食が再開されました。みなさんに黙食の徹底をお願いしている状況です。給食準備も含めて、皆さんの「気をつけよう、気をつけなければ」という姿がみえました。ただ、きちんとしようとする皆さんの姿はうれしいけれど、素直にうれしいと言えない複雑な気持ちです。子どもに「しっかりやる」ことを求めるのではなく、子どもの「のびのび」している姿を穏やかに見守る、そんな日が来ることを願わずにはられません。

「次に何かできるようになるための今」と信じましょう。「しんどいなあ、面倒くさいな」と思いながらも、今はみんなの安全・安心を創り出しましょう。